

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 29 日(水) 18 時 30 分～20 時 35 分		
開催場所	安城まちづくりセンター	参加人数	10 人
出席議員	村武まゆみ、布施賢司、大谷学	補助員	笹田卓
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ・サポーター制度は有難いが、担当者に任せっきりにならないように留意する必要がある。 ・地域交通については、お金の取り扱いなど経理の仕方が煩雑である、前渡し金として預かって処理するなど簡便な方法に改善して利用しやすいしくみにしてほしい		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について ・長期となる定住につなげるためには、来住者が地域の人や土地に馴染んでいただくことが大事。 ・弥栄内の各所で見受けるモリアオガエルの卵やギフチョウなどの自然の素晴らしさに気付いていないと思うので、この素晴らしさを PR 発信する人の育成が大事である。		
	【産業建設】 地域産業の問題点と課題について ・有機野菜の出荷を生産者で行っているのですが、その時間と経費の短縮や圧縮ができないか。道の駅での販売など販路の安定化ができないか。 ・漁場の豊かさが損なわれていると聞く、農薬不使用の自然的な農法により川や海の豊かさを取り戻していく必要があるのではないか。 ・熊による人的被害が出ないように駆除など早急な対策が必要である。 ・農業体験希望のニーズはあるが宿泊施設がない。教員住宅などの公的住宅を活用して確保してほしい。 ・法律改正により手作りの漬け物等の製造販売が厳しくなった。保健所の認可を得られるような施設改修には多額の経費が必要となるので意欲を継続させるためにも補助の検討を！		

自由意見	【総務文教委員会】 ・ 弥栄では小中学校生の減少が大きな問題である。短期でもいいが山村留学生のような市外から子どもを受け入れる制度を市でも検討してほしい。
	【福祉環境委員会】 ・ 地域の魅力発信が重要である。角寿司など地元の名物やモリアオガエルやギフチョウなどの弥栄ならではの自然の豊かさを積極的に PR 発信していく必要がある。 ・ 医療 MaaS の導入に期待をする。
	【産業建設委員会】 ・ ふるさと体験村の利用促進に向けて産業建設委員会での意見も参考に体験イベント等の充実に向け努力したい。 ・ 弥栄の資源である文化・歴史・自然の豊かさを発信が大事で、それらの案内表示もして周知に取り組む必要がある。 ・ 道路上の危険箇所や修繕箇所など状況をスマホの位置情報や写真機能を活用して迅速に報告ができて、その情報を集約管理する中で改善につなげるような仕組みをつくり安心安全につなげてほしい。

令和 6 年 5 月 31 日 報告者 大谷 学